
解説書
PlayStation
学校であった怖い話S
BANPRESTO

CONTENTS

For Japan Only
プレイヤー 1人
メモリーカード 1ブロック
SLPS 00404

STORY
ストーリー

「それでは、始めましょう。」

ぼくは、重苦しい空気に耐えきれず、つとめて明るい声でそう言った。これから、この学校で実際にあった怖い話を聞くために。

ぼくの名は坂上修一。新聞部一年。今度新聞部の企画で、この学校の怖い話を特集することになった。ぼくが担当に決まり、先輩が怖い話の語り部を集めてくれた。語り部は7人来るはずだ。だが、1人は未だに現れず、日野先輩も用があるとかで来ていない。そんなわけで、ぼくがこの会を進行するはめになったのだ。

6人は無言でうつむいたままだ。立て付けの悪い窓からは、なま暖かいすきま風が、ぼくの頬をなめるように吹いている。言い知れぬ恐怖がぼくを襲い、息をするのさえ苦しい。できればこの場から逃げ出したいくらいだ。

そして、一人目の話がはじまった・・・。

「それでは、始めましょう。」

わたしは、重苦しい空気に耐えきれず、つとめて明るい声でそう言った。これから、この学校で実際にあった怖い話を聞くために。

わたしの名は倉田恵美。新聞部一年。今度新聞部の企画で、この学校の怖い話を特集することになった。わたしが担当に決まり、先輩が怖い話の語り部を集めてくれた。語り部は7人来るはずだったが、1人は未だに現れず、日野先輩も用があるとかで来ていない。そんなわけで、わたしがこの会を進行するはめになったのだ。

6人は無言でうつむいたままだ。立て付けの悪い窓からは、なま暖かいすきま風が、わたしの頬をなめるように吹いている。言い知れぬ恐怖がわたしを襲い、息をするのさえ苦しい。できればこの場から逃げ出したいくらいだ。

そして、一人目の話がはじまった・・・。

コントローラの使い方



方向キー

●選択肢を選ぶ

スタートボタン

●ゲームを一時中断します。また
○取材メモを呼び出す
○話の続きを聞く
の2つの機能を使うことができます。

基本操作

「学校であった怖い話S」は、画面に表示される文章を、グラフィック・サウンドとともに楽しむゲームです。ゲームは、怖い話をする人物・「話し手」を決め、その人の話の中で分岐点となる選択肢を選ぶことで進んでいきます。

△ボタン・L2ボタン

- 約1画面分の文章送りができます。
- 選択肢の決定
（選択肢のみ。他の決定はできません。）

○ボタン・L1ボタン

- 文章を送るときに使用します。
- しばらく押していると、次の文章送り表示まで、表示速度が速くなります。
- 各種選択の決定に使用します。



■話し手を決める

誰の話を聞くか決定します。一話終了する度に次に話をする人を決定して下さい。
※このゲームは話を聞く人の順番でシナリオ・エンディングが変化します。方向キーで、6人のうち誰の話を聞くか選択し、○ボタンまたは L1ボタンで決定してください。

■文章の進行

文章の進行中、画面に送りマークが現れたら、○ボタンまたは L1ボタンを押してください。次の文章が表示されます。また、△ボタンまたはL2ボタンで約1ページ分の文章を一度に送ることができます。

■選択肢の決定

話の途中で、話し手に解答を求められたり、行動の選択を迫られたりする事があります。こうしたときには、画面にいくつかの選択肢が表示されますのでプレイヤーは、そのうちの一つを選ばなければなりません。選んだ結果によってストーリーは次々と変化していきます。選択肢は方向キーで選択してください。○ボタンまたは L1ボタンで決定してください。

ゲームを始める

[illegible]

ディスクを正しくディスクトレイにセットして、本体の電源を入れてください。
バンプレストの表記画面に続き、しばらくすると「学校であった怖い話S」のタイトル画面が現れます。
ここでSTARTボタンを押してください。





■スタート画面

始めから：初めてゲームをするとき、あるいは、はじめからゲームをしたいときに選択。

続きから：セーブデータがある場合、ゲームの続きをしたいときに選択。

☆ゲームをつづきから楽しみたい場合、このゲームのセーブデータが入ったメモリーカードをあらかじめ本体に差しておいてください。

☆オープニングムービーを省略したいときは、スタートボタンを押してください。

SLPS 00404

はじめてプレイする場合

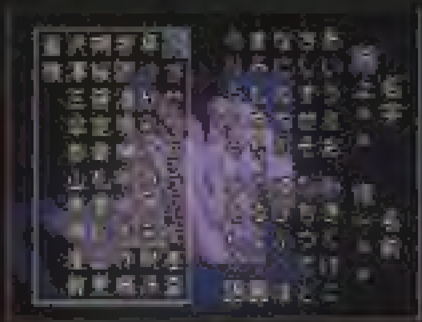
スタート画面で「始めから」を選択し、○ボタンまたはL1ボタンを押してください。

●主人公を選ぶ

主人公は男性か女性を選ぶことができます。
主人公の性別によって、物語の進行に変化があります。

●名前を変更する

主人公にはあらかじめ名前が付いていますが、好きな名前に変更することができます。名前を変更する場合、名前入力画面で好きな名前に変更してください。文字は方向キーで選択し、○ボタンで決定、×ボタンで取り消すことができます。変更しない場合は、スタートボタンで送ることができます。



●セーブする

名前を決定すると、セーブするかどうかの確認があります。
その名前でプレイする場合は、「取材メモ」を選んでセーブを行ってください。

●オープニングムービー

名前を決定するとオープニングムービー、続けてオープニングシナリオが表示されます。（オープニングムービーはスタートボタンでスキップできます。）

●話し手を選ぶ

はじめに誰の話を聞くか決定します。話し手6人の名前が表示されますので、方向キーで選択し、○ボタンまたはL1ボタンで決定してください。話し手はそれぞれ得意なジャンルを持っています。11ページ以降の人物紹介を参考にしてください。

セーブデータがある場合

メニュー画面で、「続きから」を選択し○ボタンまたはL1ボタンで決定してください。セーブしたところから、次の話し手の物語が楽しめます。



●話し手を決める

まだ話をしていない人の中から、話し手を選んでください。方向キーで選択し、○ボタンで決定します。



●オープニングムービーについて

始めからゲームをプレイする場合、性別と名前が決定するとオープニングムービーが始まります。あなたが選択した性別によって、男女それぞれの声でナレーション付きのムービーが楽しめます。

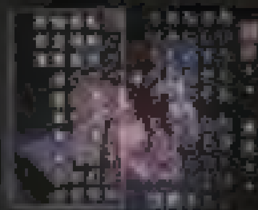
※ゲーム中の音声によるナレーションはありません。

※続きからの場合、オープニングムービー、オープニングシナリオは始まりません。

名前を変更したい場合



セーブデータで「続きから」を選んでゲームを始めた場合は、「名前変更」で、主人公の名前を変更することができます。
（変更の仕方は6ページを参照してください。）
名前入力画面で名前を決定したら、セーブデータの中から変更したいデータを指定してください。方向キーで選択し、○ボタンまたはL1ボタンで決定します。

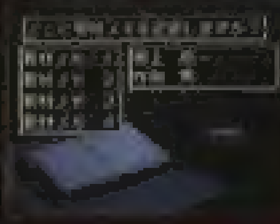


データをセーブする

データをセーブする場合は、別売りのメモリーカードを使用します。データをセーブする際、ゲームデータ1つにつき、メモリーカードの記録用ブロックを1ブロック使用します。（1ブロック内に4ゲームセーブできます）プレイステーション本体のメモリーカード差込口1に、メモリーカード（別売り）を差し込んでから電源を入れます。各話が終了したときにデータをセーブすることができます。セーブ画面に切り替わり「どこに取材メモを記録しますか？」と表示がありますので、方向キーで選んで、○ボタンまたはL1ボタンで決定してください。

メモリーカードのデータを消去する

メモリーカードの詳しい取扱については、プレイステーション本体の取扱説明書をご覧ください。
☆"取材メモを消す""取材メモを写す"でデータの消去とデータを写すことも行えます。





マルチシナリオ・マルチエンディング

全体の結末はプレイヤーが握っている。

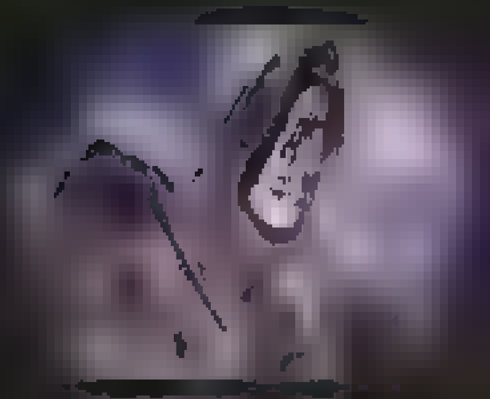
このソフトは、プレイヤーが様々な物語を楽しめるよう、マルチシナリオ・マルチエンディングというシステムを採用しています。
話を聞く順番で物語の内容と、エンディングが変わります。
一度だけのプレイでは、学校であった怖い話の全貌を知ることはできないのです。

◆話を聞く順番、主人公の性別で物語の内容が決まります。
表の数字はストーリーナンバーです。

ストーリー / 名前	1話目	2話目	3話目
新堂	共通	共通	個別
荒井	共通	共通	共通
風間	個別	共通	共通
細田	共通	個別	共通
岩下	個別	個別	共通
福沢	共通	個別	共通

※共通の項目は、坂上/倉田どちらでも楽しめます。個別の項は男女それぞれ選択した時のみ現れるシナリオです。

恐怖の隠しシナリオ

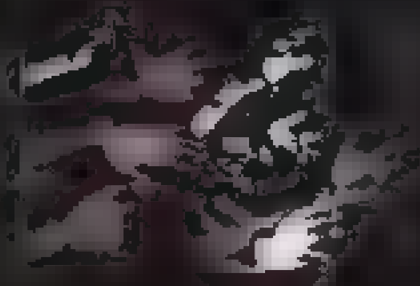


ストーリーは、話を聞く順序と、主人公の性別によって変化します。シナリオ本数は全部で60話以上。その上、各ストーリーにはさまざまな分岐があり、同じストーリーでも、何パターンもの変化を楽しむことができます。

さらに、特別な条件を満たしたときのみに現れる、隠しシナリオが用意されています。

何度もプレイすると、新聞部室に霊気が溜まり、恐ろしいことが起こるという噂もあります。

無数の恐怖があなたを待っています。さあ、恐怖の物語をはじめましょう。







登場人物紹介

今度の新聞で、うちの高校の七不思議の特集を組むことになり、新聞部の一年生[illegible]新聞部では、校の七不思議を特集することになった。[illegible]日の放課後、[illegible]人集めの[illegible]の日、部室に集合した七人の話し手の他、[illegible]は未だ現れず、[illegible]を始めることになった。

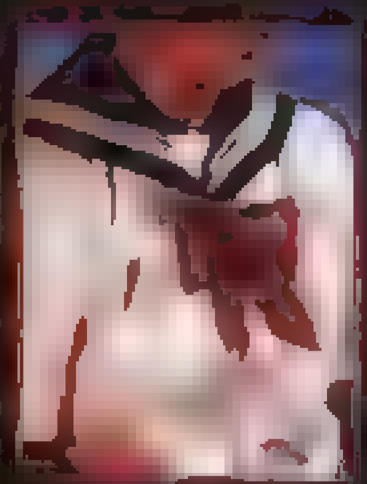


坂上 修一（男子）

高校一年。新聞部の部員で、学校の7不思議特集の企画を担当。集会の進行役をつとめることになった。※プレイヤーが操作するキャラクターなので、名前は変更可能。

倉田 恵美（女子）

高校一年。新聞部の部員で、学校の7不思議特集の企画を担当。集会の進行役をつとめることになった。※プレイヤーが操作するキャラクターなので、名前は変更可能。





日野 貞夫（新聞部の先輩）

高校三年。主人公が所属している新聞部の先輩。七不思議の取材のため、七人の語り手を集める。



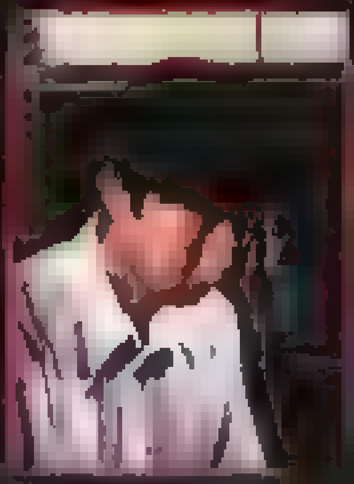
新堂 誠

高校三年。「何かあったら俺にまかせろ」といったタイプの兄貴肌。不良っぽいところもある。クールな口調で迫力のある怖い話を語る。



風間 望

にこやかな甘いマスクなのだが、彼と初めてあった人はある種の戸惑いを覚える。彼の優しい表情の裏には、なにが隠されているのだろう。高校三年。



荒井 昭二

高校二年。礼儀正しい知性派。丁寧な口調で、美しい悲劇や残酷な物語を披露する。



細田 友晴

高校二年。人なつっこい性格。トイレにまつわる話に詳しい。穏やかな話し方で、トイレに関わるあらゆる恐怖談を語る。



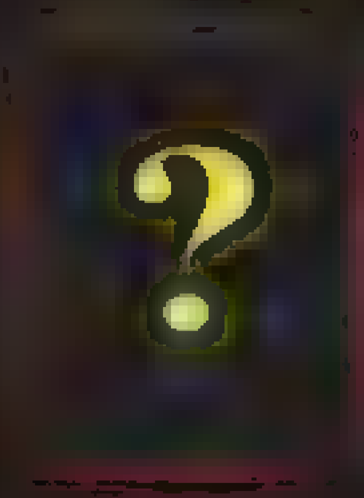
岩下 明美

高校三年。美しくミステリアスな少女。気分屋で態度が急変する。人を心理的に追いつめる話し方を得意としている。



福沢 玲子

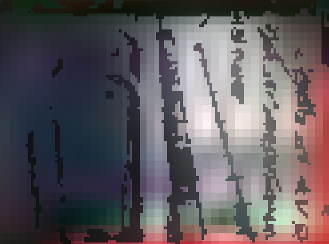
高校一年生。元気な明るい少女。かわいい口調で一風変わった怪談を話す。女の子の心理に関する怪談をよく知っている。



七人目の語り手

新聞部の部室にいまだ現れない人物。七人目の話し手が現れ、その話が始まると[illegible]と何かが…







新校舎

怨霊に取り憑かれたこの学校では、新校舎にも恐ろしい噂が絶えない。



1階の女子トイレにある鏡の形をしたタイルには、恐ろしい秘密が隠されていた。

―――細田友晴



今は誰も使っていない掲示板。そこには女生徒の呪いが込められている。

―――岩下明美



一学年棟の階段は、ときに無限廊下への入り口が開くという。

―――岩下明美



ひっそりと美術室に眠る一枚の絵に隠された恐怖。　―――岩下明美

ストーリーチェックメモ

ストーリー／名前	1話		2話		3話		4話		5話		6話	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
新堂												
荒井												
風間												
細田												
岩下												
福沢												

+α 他のシナリオが発見できたらチェックしよう!!

◆このソフトは、使用漢字等で、中学生以上を対象としています。

おことわり

ゲーム内容について、電話でのお問い合わせには、一切お答えできませんのでご了承ください。なお、ゲームのヒントは各専門誌等をご覧ください。

商品の企画、生産には万全の注意をはらっておりますが、ソフト内容が非常に複雑なために、プログラム上、予期できない不都合が発見される場合が考えられます。万一、誤動作等を起こすような場合ございましたら、バンダイグループお客様相談センターまでご一報ください。

お買いあげのお客様へ

商品についてお気づきの点がございましたら、バンダイグループお客様相談センターまでお問い合わせください。住所電話番号、保護者の方とお子さまのお名前・お年も必ずお知らせください。

●バンダイグループお客様相談センター

東京都台東区駒形2-5-5 〒111-81　電話 03-3847-6666

●電話受付時間　月～金曜日（祝日を除く）10時～16時
電話番号はよくたしかめてお間違いのないようにご注意ください。

発売元 BANPRESTO 株式会社バンプレスト　制作/バンドラボックス

千葉県松戸市松戸1230-1 〒271

※バンプレストはバンダイグループの一社です。



SLPS 00404